



創業時の電子部品から端子盤専門メーカーへ

- 創業者、創業に向け悪戦苦闘
- 昭和41年、フジコン（株）を創業
- 大きな期待のなかで船出
- 全国の販路拡大に尽力
- 端子盤専門メーカーとして躍進

1966～  
1968年

1976～  
1985年

端子盤専門として盤石な体制を構築

- コネクタ開発、PLC向けに急増
- 川崎事業所を開設、生産体制を強化
- 本社工場、山梨事業所を開設
- 発明奨励賞（発明協会）を受賞
- 業界で初めてUL規格を取得
- 毎年掲示の『標語』を開始



1969～  
1975年

端子盤専門メーカーとして高成長を継続

- 順風満帆に業容を拡大
- 貫通型端子板でヒット商品誕生
- 経済環境悪化でマイナス成長に
- 旺盛な開発需要で急回復、高成長へ



1996～  
2005年

強固な生産体制で『純国産』を貫く

- 高成長のなかで30周年を迎える
- 35周年、最高の業績をカスタム品が牽引
- 中国生産を見送り『純国産』を貫く
- 『高品質・短納期・低価格で純国産』を強化
- ISO規格を取得、強固な生産体制に



1986～  
1995年

25周年、堅調な需要と設備増強で目標達成

- 20周年、業績低迷を営業攻勢で回復へ
- 底堅い需要分野に支えられ高成長を持続
- 5年毎の海外研修を開始
- 海外の展示会にも積極的に出展
- TUV規格など海外規格を積極的に取得



2006～  
2015年

市場環境の構造変化にすばやく対応

- 好業績のなかで40周年を迎える
- 環境機器向けの需要が拡大
- 会社員で環境問題への意識を共有
- 3カ年経営計画を策定、全社展開
- 業績悪化で中国生産を検討
- 中国事業部を新設、委託生産を開始
- 社長交代、新体制で節目の50周年



【1978年】  
エンジニアプラスチック  
PBT 使用の端子盤を開発、  
シリーズ化に成功。  
端子盤コネクタの開発に成功。

【1979年】  
大容量小型端子盤  
「F2037シリーズ」を販売。



## 1970～1979年

【1987年】  
ワンタッチ式カバー「F2057E」を  
開発・販売。

【1988年】  
大幅に信頼性を向上させたネジなし  
端子盤「F6003」を開発・販売。

【1989年】  
1ターミナルに2枚圧着端子を装着  
できるワンタッチカバー付き端子盤  
「F2323A」を開発・販売。

【1990年】  
信頼性向上のねじなし端子盤「F6005」  
「F6006」を開発・販売

## 1986～1990年

【1997年】  
F2323シリーズのAタイプBタイプ  
一体型「F2332」を開発・販売。

【1997年】  
PC用超薄型ツーピースコネクタンシ  
「F5209ABLT」を開発・販売。

【1997年】  
端子盤でc-UL規格を導入。図面情報  
のデータベース化を開始。

【1998年】  
補強金具付き端子盤でUL、c-UL、TÜV  
規格を取得。

【1999年】  
ピッチ幅16ミリ小型で大容量貫通  
端子盤「F2370ALX」を開発・販売。

【1999年】  
狭ミリピッチ押締め式「F5210ABRT」  
を開発・販売。

【2000年】  
3D CAD Solid Worksを導入し3次元  
での開発設計を推進し設計期間を短縮を図る。

## 1996～2000年

【2007年】  
変換機用薄型押締め端子「F8381」を開発。

【2010年】  
プリント基板ハンダ付けタイプで1000V対応の「F2379」を開発・販売。

【2010年】  
2列ツーピースコネクタンシで  
セルフアップ式「F8556」を開発。



【2010年】  
100A対応基板端子「F4116」を開発・販売。



## 2006～2010年

## 1966

## 1966～1969年

【1966年】  
ハモニカ端子で防塵カバー付き「F106」と  
ネームプレート付き「F107」を開発・販売。



【1967年】  
貫通型同時成形端子盤「F135」を開発・販売。



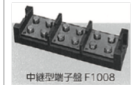
【1969年】  
絶縁不良の心配が無い「F2001」を開発・販売。



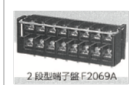
## 1980～1985年

【1980年】  
業界で初めてUL規格のシリーズ  
認定を受ける。

【1982年】  
「F1005シリーズ」でUL規格を取得。  
大容量(800A)端子盤「F1008」を  
開発・販売。



【1983年】  
超小型2段端子盤「F2069A」を販売。



## 1991～1995年

【1991年】  
業界初の100A大容量貫通型端子盤  
「F2087NE」を開発・販売。

【1991年】  
幅17.5mmの小型化を実現したツ  
「F5204」を開発・販売

【1992年】  
「UF2323シリーズ」でTÜVの規格  
認証取得。

【1992年】  
結線ビスの脱落を防ぐセルフアップ  
「F5107-20P」を国内初で初めて販売。

【1994年】  
「UF1005シリーズ」他、7種類の  
TUV規格を取得。

【1995年】  
スイッチング電源用プリント基板に  
「F2327」を開発・販売。

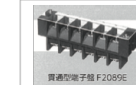
## 2001～2005年

【2001年】  
電線断線、抜きの接続不良を解消し、ピッチ  
3.81mmを小型化に成功したネジなし端子盤  
「UF6018」を開発・販売。

【2002年】  
21ミリピッチ大電流貫通端子盤  
「F2089E」を開発・販売。



【2003年】  
大容量中継端子「F1009」を開発・販売。



【2003年】  
ISO9001:2000 認証取得。

【2005年】  
2連基板端子「F4093D」を開発・販売。

## 2011～2016年

【2011年】  
温度ヒューズ付き中継形端子盤  
「F1010」シリーズを開発・販売。

【2012年】  
M6サイズでバーリングタップ方式端子  
「F4120」を開発・販売。



【2014年】  
表面実装型基板端子  
「F4134」「F4135」を開発・販売。



【2015年】  
絞り袋基板端子「F4124」を開発・販売。

